

ミノルタ千代光会 会報 No.150

目次：No. 150

会員便り	1-2
各地区秋の行事のご案内	2
事務局からお知らせ	2-4
高野山物故者慰霊祭	3
理事会便り	3
追悼の辞	4-5
事業所むかしいま	6-7
近況報告	8

暑中お見舞い
申し上げます

会長 大場 勝



作品 練り込み鎬波器
(作者 井上雅善さん)

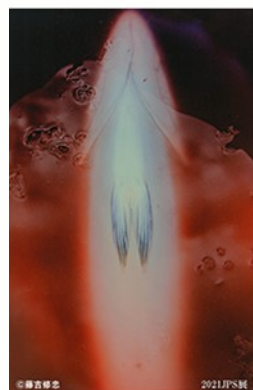
会員便り

「第46回JPS公募展2021」「奨励賞」を受賞 関西地区会員 藤吉修忠さん

公益社団法人日本写真家協会主催の公募展「第46回JPS公募展2021」で「奨励賞」を受賞されました。

受賞作品「血抜き鮮魚」カラー3枚組は、全国から選ばれた各部門の作品とともに、東京、京都、名古屋で展示されました。

「血抜き鮮魚」カラー3枚組



* 作品に対するコメント

ピチピチ跳ねる魚が漁港で水揚げされ、包丁で首に切り目を入れられて生きてまま血を抜かれて氷水の中に放り込まれるのです。

氷水はたちまち鮮血に染まり真っ赤になります。その中で未だ魚は生きて居ます。このまま市場や寿司屋に運ばれていきます。

残酷な仕打ちです。それは少しでも新鮮な魚を食べたいという人間の「えご」の為です。

そんな魚の哀れな様を撮った3枚の組写真です。

私のブログ紹介

関西地区会員 井上雅善さん

大学時代に卒業研究でガラスに関する研究をしていて、それが縁でミノルタに入社することになりました。

2002年に退社して何か趣味を持とうと思いつながら川西能勢口駅1Fの「かわにしギャラリー」の前を通りかかった時に、陶芸教室の作品展が開催されていました。これが陶芸との出会いで、現在まで趣味として続いています。

教室だけでは物足りなくて、2008年に自宅に工房らしき作業場を作り、自宅での創作活動を始め、その結果を近くの市展（公募展）に応募することで技術の向上を図りました。

作品 練り込み鎬波文壺



（次のページに続く）

自作の作品や作品展、各地の陶芸の里や陶芸美術館をめぐる「やきもの紀行」の紹介をするためにホームページを開設（2010年）しましたが、これがブログ活動を始めるきっかけになりました。

陶芸に熱中するあまりに腰痛を起こし、その対策として散歩をすることにしました。その効果は直ぐにあらわれて、継続するためには楽しみを持たなければということで、花の写真を撮ることにして毎日の記録としてブログを始めました。（2014年）

したがって、私のブログは「趣味の陶芸と朝の散歩（花との出会い）の日記」として現在まで続けています。

基本の作陶技術は陶芸教室で学びましたが、もつと専門的な技術は窯元を廻って直接教えていただきました。窯元の当主さんは皆さん親切で本当に丁寧に教えてくださいました。唐津焼（佐賀県）、小石原焼（福岡県）、波佐美焼（長崎県）で現在の技法の基本を学びました。

私の現在の独自技術「練り込みろくろ成形の鎬（しのぎ）作品」の基本は波佐美焼の治甫窯さんに教えていただきました。自作の作品の写真を持参して事前の予約もなしに伺いました。「一応上手く出来ていますよ」と言って、使用する粘土の条件、成形の手順などの技術を惜しげもなく素人の私に丁寧に教えていただいたお陰で、その後川西市展、池田市美術展で次々に一席や市議会議長賞などを受賞することになりました。そして2018年に全国規模の「全陶展」でも会員になることができました。

現在ではGoogleで「練り込み鎬作品」で検索すると私の作品が「gazen-gama」の名前で沢山掲載されるようになりました。

そして、それらの作品の制作工程もブログで紹介しています。

今後も健康に十分注意して、生涯現役を目指して、創作活動や散歩の記録を継続して残していきたいと思っています。（なお、花に関するエピソードを含め詳細な内容・写真をミノルタ千代光会のHPに記載しています。編集子）



新企画 『ミノルタ事業所むかし』 連載開始のお知らせ

ミノルタの旧事業所の今の様子を訪ねご報告していきます。

第1回は本社（3カ所）をご紹介します。

懐かしんでお読みください。みなさまのご意見もご紹介したいと考えています。事務局宛に思い出、感想等なんでも結構ですので、はがき・メール等をお送り頂ければ幸甚です。よろしく願いいたします。

事務局メール：chiyokukai2009@yahoo.co.jp

秋の行事のご案内

ミノルタ千代光会の各行事は、コロナ禍の影響により中止が続いております。親睦を深める良い機会となります秋の行事ですが、関西地区は残念ながら中止、中部・関東地区は、開催可否の判断をコロナ感染症の拡大状況を鑑み、下記スケジュールにて各地区事務局よりご連絡させていただきます。今暫くお待ちください。

《 関西地区 》

昨年に引き続き、
残念ではありますが、
秋の行事も中止
いたします。

（関西地区 事務局）

《 中部地区 》

実施可否判断は9月末
会員の皆さまには、決定次第
ご連絡いたします。

【実施の場合】

11月頃「カニバスツアー」

（中部地区 事務局）

《 関東地区 》

実施可否判断は9月上旬
会員の皆さまには、決定次第
メールまたはハガキでお知らせ
いたします。

【実施の場合】

11月頃 場所：未定

（関東地区 事務局）

2021年度 物故者慰霊祭について

2021年度の物故者慰霊祭は10月7日(木)に開催予定で準備を進めています。しかし新型コロナウイルス感染リスクを考慮し、昨年同様物故者ご遺族及び千代光会会員方のご参列は中止し、理事及び会社関係者のみで催行することと致しました。

物故者ご遺族様(昨年のご遺族様を含む)には来年度改めてご案内させていただきます予定です。

今後はご遺族様より辞退のお申し出がない限り、原則として全員慰霊碑に合祀させていただくことといたします。時代状況の変化に対応した施策とご理解下さい。

また新たな方針として、千代光会に入会されていない方で旧ミノルタに勤務された経歴のある方から合祀のご希望があった場合は、理事会の承認を経て合祀させていただくことといたしました。会員各位からご友人方へご案内下さい。

この一年に逝去された方々 (死亡が確認された方々を含む) (享年・住い・死去された日)

小林 正美	2016年 2月 3日
山本 正信	2020年 6月 4日
井村 俊宜	2020年 8月29日
松岡 隆志	2020年 9月 3日
馬淵 武	2020年 9月10日
妙見 政和	2020年11月 6日
小野田 俊一	2020年12月27日
田嶋 光雄	2021年 1月27日
今西 宏	2021年 1月27日
中村 博俊	2021年 2月 1日
北木 忠夫	2021年 2月 1日
山谷 昇	2021年 2月23日
浅野 博徳	2021年 3月 2日
梅原 宣夫	2021年 3月12日
水野 康次	2021年 3月15日
芝辻 満雄	2021年 5月 3日
池田 賀一	2021年 5月10日
浦久保 光男	2021年 5月19日
楠本 幸二	2021年 6月12日

○会員の皆さん

高野山へお詣りの節は南院にもお立ち寄り下さい。千代光会からのお詣りとお伝えいただければ過去帳、厨子も拝観できます。

※南院へは、高野山駅よりバスに乗車、「波切不動前」で下車。

※ミノルタ慰霊塔のある霊園へは、「奥の院前」で下車。



理事会だより (WEB会議)

5月理事会

中止

6月理事会

◇中期計画策定について

◇2021年度物故者慰霊祭開催について

◇会計事務の効率化について

◇関西地区

・秋の行事について

・総会について

事務局からお知らせ

お悔やみ申し上げます

小林 正美	2016年 2月 3日
芝辻 満雄	2021年 5月 3日
池田 賀一	2021年 5月10日
浦久保 光男	2021年 5月19日
楠本 幸二	2021年 6月12日

田=中部地区会員
 園=関東地区会員
 無印=関西地区会員

おめでとうございます

<古稀>

5月 大矢 富夫
 6月 山下 通文 宇治 富雄 山野 涉
 7月 山下 正雄^田 戸苺 博行^田 宮本 雅次

<喜寿>

5月 牧 武 後藤 義弘^田
 6月 竹内 英夫^田 松井 俊夫^田 永田 恵之^田
 古川 一三
 7月 手島 巖^田 平野 和臣^田 出水 季武
 西尾 吉信 奥平 任志^田 堀江 義宏^田

<傘寿>

6月 小林 康夫 吉田 宗忠 木佐貫 徹^田
 7月 伊香 武司 土田 保年^園

<米寿>

5月 倉本 善夫
 7月 神谷 信^田

<卒寿>

6月 村岡 郁夫
 7月 若山 成章^田

追悼の辞

今西 宏さん

1月27日死去

今西さんとの出会いは、私が入社間もない頃です。

ベルト作業を必死にこなして居る時、掃除に来られた今西さんに、ビスが床に沢山落ちていたのを注意されたのが最初の思い出です。顔も怖いと言ったことも怖かったのが印象です。

その後、今西さんが組立1課のパート職を担当された、同じ職場の時が最も

繋がりが深かった様に思います。

今西さんはパートの方々にも人望があり面倒見が良い方でした。

私の体のことをよく気付かってくれました。無茶するなよとばかり、この弔文を書いてみると、当時のこと、お世話になったことが色々と思ひ浮かびます。

この人の為なら何でも「協力するで」と感じさせる唯一の人でもありました。それが急逝されるとは今も信じられませんが、米寿の祝いをしたかったです。残念でなりません。

心よりご冥福をお祈りいたします。

(浅井一郎)



事務局からお知らせ

新入会員のお知らせ
 今回は該当の方無し

【会員状況】

6月15日現在

関西地区 [510名]
 中部地区 [214名]
 関東地区 [66名]

合計[790名]



梅原 宣夫さん

3月12日死去

3月12日昼下がりの訃報に言葉を失いました。同期入社で前月に68歳になったばかりの梅原宣夫さんが急性心筋梗塞により還らぬ人となったのです。10日後のオンライン飲み会での再会を楽しみにしていたのに。彼は、最初は堺の技術センターで一眼レフカメラ用焦点板のアクセサリーマットの開発に携わるなどカメラ分野の開発者でした。

その後カメラ開発を離れ、ミノルタ初のワープロPCW-1の開発者として販売を支援するために米国に駐在したことで、開発から営業に転身することになりますが、大変苦労が多かったと思います。

その後は、一時期日本で調達子会社の社長をしましたが、主にLBPや複合機の営業で活躍し、BTの取締役として米国の社長の社長を最後に退職し、これまで台湾代理店の上海子会社の社外取締役を勤めていました。テニスはとても上手でゴルフ大好きで、センスの良い非常に爽やかなシテイボーイでした。ご冥福をお祈りいたします。合掌。

(唐崎 敬至)

水野 康次 さん

3月15日死去

水野康次さんが3月15日に亡くなられたとの
残念な報を受け一言

水野さんとは30年くらい前にカメラ部門から
ミノルタプラネタリウムの社長として来られ、
退職されるまでの3年間ほどの付き合いです。

私は入社後プラネタリウム一筋なのでカメラ
時代のことは存じ上げないため、その後のエピ
ソードをお話します。

その間、プラネタリウムの売り込みや契約後
の知事、市長等VIPへの挨拶に同行してもら
う事が何度ありました。

そんな出張時、水野さんはだるまやこけしを
趣味で集めていて、家の中に置き場所がなく
りつつあること、造幣局にもないような珍しい
コインを持っていること、家系（由緒がありそ
う）のこと等プライベートなことも多く話さ
れ、同行していても楽しく疲れない人でした。

仕事では自分の意見を押し付けず、部下に判
断を任せる人で仕事がしやすかった記憶があり
ます。もっとも、プラネタリウムの経験が短期
間であつたためかも知れませんが。

社内ではいつもニコニコしていて、部下を
怒ったり、苦言を呈しているのを殆ど見たこと
がなく、本当に温厚な人でした。

私がアトピー性皮膚炎で20年以上困っている
話をする、皮膚によく効くと馬油を探してく
れたり、困っている話をする、一緒に悩んでく
れる人でした。

私も30年以上前の3年間のことで記憶がはつ
きりしない部分もありますが、いつも明るい人

であつたことが記憶に残っています。

ご冥福をお祈りします。

(服部 俊明)

芝辻 満雄さん

5月3日死去

芝辻満雄さんを偲んで

芝辻さんは1998年11月に伊丹工場を退職され、
その後2011年まで通算12年間当会の理事、監事
をお務めいただき、いつも周りに細やかな配慮をさ
れ、温かい笑顔の対話を大切にされた姿が印象的
です。

2011年千代光会秋の合同旅行で、芝辻さんが南
京玉すだれの華やかな衣装で舞台上に登場し、参加
者を巻き込んで盛り上がったことを思い出しま
す。

芝辻さんは「在職中は話をするのも苦手だつ
た」と照れておられました。興味があつて大道
芸のプロに師事し、「南京玉すだれ」をはじめ皿
回しやマジックなど幅広く勉強され、在職後も本
物の芸を目指して演技に磨きをかける為に、発声
や間の取り方をプロの落語家に学び、「御堂筋南
玉」の芸名を得るなど、「ほんもの」を志向され
ました。

そして自ら「大道芸の愉快な仲間」を主宰して
披露と指導を行うとともに積極的に学校や自治体
の催事、病院等でボランティア活動に努められま
した。心よりご冥福をお祈りいたします。

(大場 勝)

*なおこの文は会報2011年1月号に掲載記事「お元気で
すか」を参考に編集作成しました。

